

# こみゆにていー戸隠

## 戸隠地区住民自治協議会広報 第35号

戸隠地区住民自治協議会事務局  
〒381-4102 長野市戸隠豊岡1554  
Tel : 254-2490 Fax : 254-2327  
e-mail : togakusi-juumin@tgk.janis.or.jp

発行者：戸隠地区住民自治協議会長 新井 利睦  
【平成30年3月発行】

## 第26回 戸隠ホームステイ



### スケジュール 1月5日～7日

#### 1日目

長野駅 着

↓  
スキー場

↓  
戸隠支所  
民泊受入れ式

#### 2日目

スキー交流

↓  
戸隠神社中社参拝

↓  
竹細工体験

#### 3日目

解散式

↓  
善光寺参り

↓  
長野駅 発

受入れ式での代表者あいさつ  
戸隠ホームステイ

歓迎 高千穂町のみなさん



1月5日から7日の2泊3日で高千穂町交流事業が行われました。今年は1日少ない日程になり子供達には一寸物足なかったと思います。1日目長野駅より直接戸隠スキー場に向かいスキー体験をしました。長旅で疲れているとは思えないほど子供達はスキーを楽しんでいました。リフトに乗り、上の方まで行ったチームもありました。

受入れ式では、代表者による挨拶や自己紹介を行い、その後、各受入れ家庭に向かいました。

2日目は朝から良い天気恵まれ両地区の子供達が一緒に滑ることが出来、大変良い交流会になりました。午後からは雪が降りはじめましたがみんな楽しんでいました。その後、戸隠神社に参拝をし宮司さんより「天の岩戸」の話を伺いました。竹細工の体験実習では、一生懸命取り組んでいました。3日目最終日となる朝、支所に集合し、解散式で両地区の代表より「これからも末永く交流を続けていきたい」という挨拶が有りました。戸隠に別れを告げ善光寺に参拝し帰路に着きました。(M)

## 地域おこし協力隊からの報告 水谷 翔 さん

### 収穫体験を実施



協力隊活動が開始し、早くも任期の半分程が終了致しました。地域の分野をこえた様々な方のご支援・ご協力のもと、精力的に取り組みさせて頂いております。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

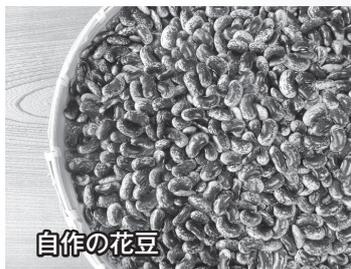
昨年の試験栽培を通じて高原花豆に注力していくことに決めました。花豆の栽培と同時並行で最も力を注いだ事は東京築地市場との関係形成であり、「戸隠産・有機花豆」としてお取引させて頂くに至りました。

2018年は地域の皆さんにご協力のお願いが御座います。戸隠産花豆の知名度を上げ、多くのお客様に知って頂く仕組み作りと勉強会・情報交換会等の開催を考えておりまして、是非ともお力添えを頂ければ幸いです。

昨年4月から通っております信州大学の加工品講座「ながのブランド郷土食」では、花豆の機能性成分に注目した新しい切り口の製品開発に努めています。

8月には戸隠公民館さんからのご依頼で戸隠と城山地区の子供達の収穫体験を、12月は戸隠中学校さんから講演のお話を頂き、戸隠で育つ野菜と花豆の魅力をお伝えさせて頂きました。

全国でも有数の自然環境に恵まれた戸隠で、今後も「農」と「食」の側面から努めてまいりたく、ご指導、ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い致します。



自作の花豆

## 地域おこし協力隊からの報告 西濱芳子 さん



根曲り竹の伐り出しに参加

戸隠地区地域おこし協力隊の西濱芳子です。私は昨年の九月から戸隠竹細工の技術の継承とその魅力を沢山の方に伝える事を主なミッションとして活動を行っています。

戸隠に住み、夜がきちんと暗く星が輝くのが見えること、空気を胸いっぱい吸えること、水が冷たく美味しこと、顔が見える方々が作られる美味しい野菜や蕎麦などを食べられること、そんな素敵なことが当たり前になりたく、とやってくる戸

隠での日々が、とても大切に思えます。

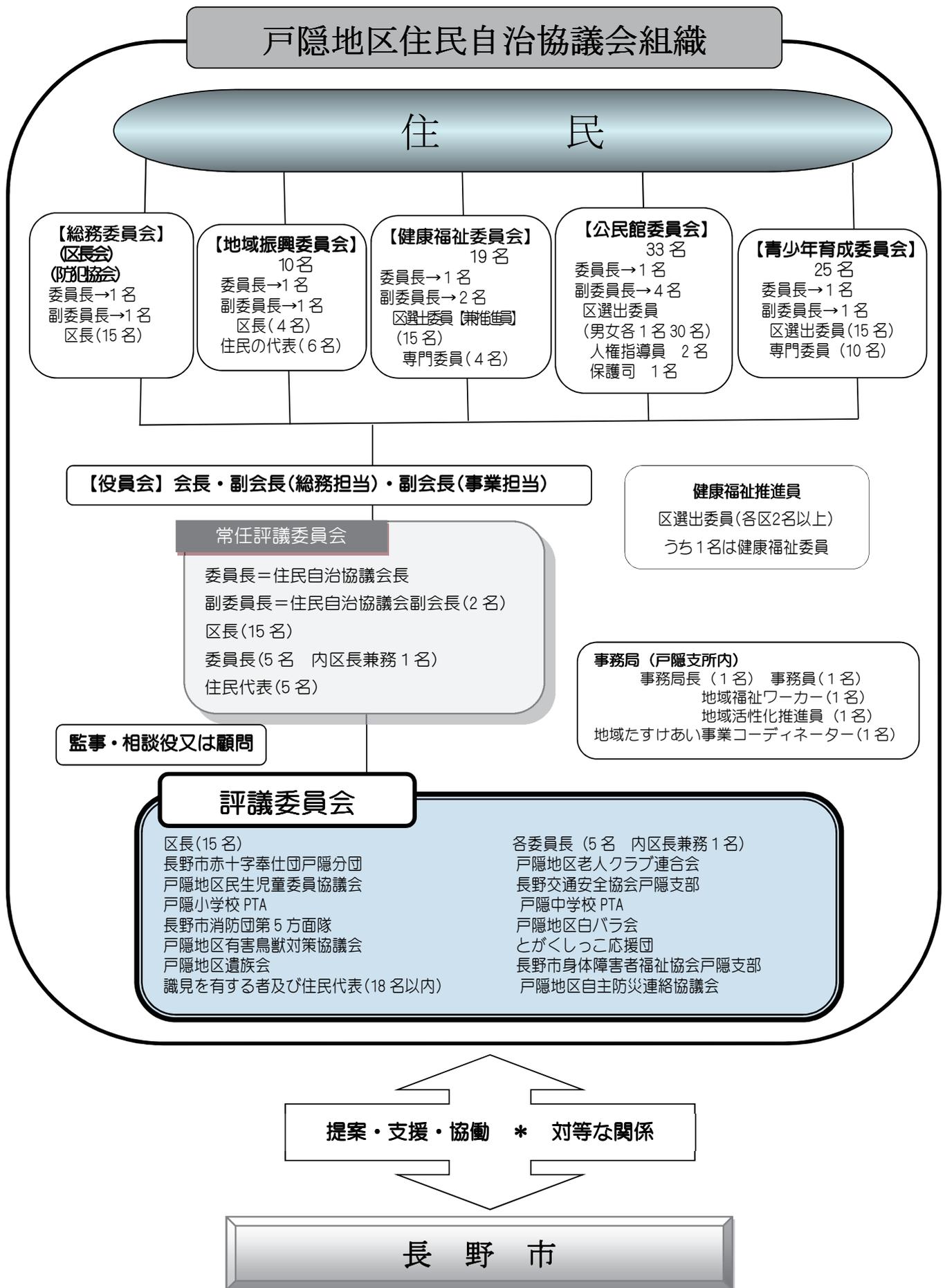
その中で、『戸隠竹細工のある生活』を戸隠の日々の暮らしを当たり前にすることが、私の夢のひとつです。

戸隠竹細工は、人々の手によって積み重ねられた営みと共に時を重ねて来ました。営みの中にあつてこそ、温かく素朴な美しさが光ります。各地で使われる戸隠竹細工の中で『戸隠で使われている戸隠竹細工』が一番いい表情になるよう、戸隠で愛される竹細工を届けたいです。



自作の竹かご

# 平成30年度 新組織（案）



# 住民の代表の方々のご意見 2年間を振り返って

2年前のある日突然、住自協の役員から住自協の役員が不足し会の運営に支障をきたしそうである。そこで是非とも住自協の住民の代表を引き受けてくれとの依頼がありました。住民の代表と言われても何をすれば良いのか分かりませんので断ろうと思いましたが、役員さんから熱心に依頼を受け、又、長い間戸隠を離れていたことから消防活動や地域活性化の活動をするには、有りませんでした。そこで、これから自分で地域活動で何が出来るかを考え住民の代表を引き受ける事にしました。住民の代表としての活動は主に常任評議委員会の出席、その他、交流会、住民大会等、各行事への参加と準備でした。

住民の代表として各種の行事に参加することにより、戸隠の広い地域を幅広く知ることが出来、又、多くの人との交流が可能となり感謝しています。実際の地域活動には至ってはいないですが、これからは、住自協の三役、事務局と協力し更なる向上を図りたいと思います。 **今井逸郎**



初夏の戸隠山

住民自治協議会（略して住自協）とは、地域の特性を生かしたまちづくりを進めるための住民主体の自主組織ということらしいです。

長野市との協定書には必須事務があり、市行政の事務や人権教育などやらなければならないとされていることがあります。選択事務として環境美化、健康、福祉、青少年育成、成人式などの諸々の活動があります。そして、自主事業として草刈やろうよ！隊、高千穂町交流事業、地域間交流、やまざと支援交付金事業、レク大会、市民運動会や健康・福祉等に関することがあります。

2年間住自協に関わって来て、不明なことは質問してきたつもりですが、事業も予算も判らないことがまだまだ沢山あります。「特性を生かしたまちづくり」については先輩に聞いたり、他地域を参考にしつつ、もっと考えて来れなかったかなあという思いです。

**山中 健**



火之御子社の夫婦杉

戸隠地区住民自治協議会の何たるかということも知らず、ましてや「住民の代表」という役が何をやる役なのかも知らずにお引き受けして、早、2年が過ぎようとしています。振り返ってみますと、一昨年、高千穂町との交流では子供達どうし様々な行事を楽しみ、交流を深め良い思い出をつくる事が出来たと思います。

地域間交流では、他地区の住自協役員の方々との交流に参加し、皆様の「活気」とか「おもてなし」を実感することが出来ました。

お返しに戸隠にお迎えしたときには充分楽しんでいただくべく住自協の皆さんとともに働かせていただきました。

月に一度の会議に参加し、「住民の代表」という役に見合った活動をしたかと問われると忸怩（ジクジ）たる思いがあります。しかし、2年間貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございます。

**羽場謙一**



夏の高千穂峡



初秋の荒倉白樺林

今回代表として会に参加させてもらうまで住民自治協議会という存在はそれ程意識していませんでした。会長さんはじめ区長さん、各委員会の皆さん、事務局が大変な苦勞をしてこの高齢化が確実に進む中山間地の問題に対応している姿に接しました。

役員になり手がいないのはすべての地区に共通ですが、特に世帯数の少ない地域は深刻です。そこで、役員員の負荷を軽減させながら地域の活性化させ暮らしを守るという相反する施策が求めています。住民と行政の橋渡しをし、日々発生する様々な問題に対応する質を上げてゆく努力が求められています。

今回の経験を活かして少しでもこれからのことに貢献出来ればと思っていますし、個人的には、コミュニケーションの場を積極的に求め創り出して元気を継続することに努力したいと思っています。 **山口和男**

## 編集後記

今年の冬は寒い日多かったですね。インフルエンザが猛威を振るい大変でしたが、もう少しで春です。

区長さんをはじめ各委員の皆さん、一年間大変ご苦勞様でした。次年度に上手く引継ぎが出来ると良いですね。次年度は組織の変更が行われますので、今まで以上の協力をお願い致します。 **（事務局）**